

専門ゼミB		演習	教授 川崎 一郎 准教授 柳澤 修
科目カテゴリー	柔道整復師コースの必修科目	科目ナンバリング	12130302

1. テーマ

主にスポーツ障害に関するメカニズム、予防法、およびリハビリテーションをテーマとする。

2. ゼミのねらい・概要

本ゼミは科学的な視点から「スポーツ障害のメカニズム、予防法、およびリハビリテーション」に関する理解を深めることをねらいとする。スポーツ障害に関する一連の研究活動を通じて、「アスリートを科学的な視点でサポートできる柔道整復師」になるための礎を築く。

3. ゼミ計画

ゼミ計画は、概ね以下のとおりとするが、ゼミメンバーの問題意識や関心・興味等を見極めながら適宜見直しを図る。

1. 後期ゼミの進め方に関するガイダンス	9. プレゼンテーション1 (グループ1: 研究の進捗)
2. 論文調の文章とは?	10. プレゼンテーション2 (グループ2: 研究の進捗)
3. 論文の構成について	11. プレゼンテーション3 (グループ2: 研究の進捗)
4. タイトルの付け方とアブストラクトの書き方	12. 研究発表について知っておくべきこと
5. 緒言の書き方	13. 研究発表のプレゼンテーション技術1 (わかりやすい発表をするために必要なこと)
6. 方法の書き方	14. 研究発表のプレゼンテーション技術2 (スライドの作り方と口頭発表の仕方)
7. 結果の書き方 (図表作成も含む)	15. 研究発表のプレゼンテーション技術3 (ポスターの作り方とポスター発表の仕方)
8. 考察と結論の書き方	

4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

①論文調の文章スタイルに慣れるためになるべく多くの学術論文 (質の高い論文) に目を通す時間を確保してもらいたい。また、プレゼンテーションやグループ学習に臨む際は、事前に十分な準備をしてからゼミに参加すること。なお、①の実施には週2時間以上必要で、②の実施には、発表時への事前準備として3時間以上必要である。

5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

口頭発表に関しては、コメントを通じて、そして研究計画書などの提出物に関しては、文章による添削を通じて、改善点などをフィードバックする。

6. ゼミにおける学修の到達目標

自然科学領域の基本的な研究方法を理解できるようにする。加えて、研究論文の作成および研究成果の発表に求められる基本的なスキルを身に付ける。

7. 成績評価の方法・基準

プレゼンテーションの内容 (60%) およびゼミに対する取組み姿勢 (40%)。

8. テキスト・参考文献

「これから論文を書く若者のために 究極の大改訂版」 酒井聡樹著 共立出版
その他は、授業中に適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

ゼミへの積極的な取組姿勢を期待する。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無
該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連
上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。